

お取り付け・ご使用前に必ずお読みください

警告

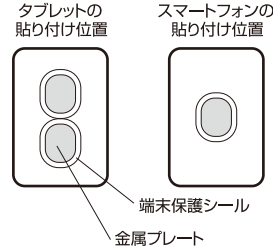
●交通事故や本製品及びモバイル機器の故障、破損の原因になるため、下記項目をお守りください。①本製品及びモバイル機器の取り付けは、本書をよく読み正しく行う。②走行中の運転者による本製品及びモバイル機器の取り付けや操作、画面の注視はしない。③本製品の固定が不安定な状態で走行しない。④本製品の取り付けは安全の為、運転やエアバッグ作動、ウインカーレバーシフトノブスイッチ等の操作に影響がないように取り付ける。⑤本製品の分解、改造等は絶対に行わない。●本製品は強力な磁石を使用しています。心臓ペースメーカーなど電子医療機器をご使用の方、及びその他の電子医療機器へ絶対に近付けないでください。●時計、磁気カード、メモリーカードなどの磁気記憶媒体には近付けないでください。故障やデータ消失のおそれがあります。また、磁気がコンパス機能に影響を与えるおそれがありますのでご注意ください。●小さな部品がありますので、お子様が口に入れないようにご注意ください。飲み込むと窒息するおそれがあります。

注意

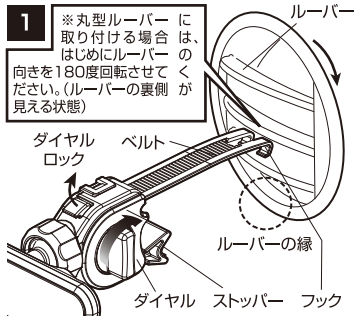
●本製品やモバイル機器の発熱、発火、結露、故障、変形、落下、お車の内装の破損や変色の原因になるため、下記項目をお守りください。①エアコンのオートスイング機構は作動させない。②長期間使用しない場合は、本製品を取り外して直射日光の当たらない場所に保管する。③取り付け後は本製品及びモバイル機器、エアコンルーバーに物をかけたり無理な力を加えない。④林道等の未舗装路や岩場等など条件の悪い場所を走行する際は、本製品を使用しない。⑤モバイル機器は後付ケースの重量も含め、約500g以下で使用する。(使用環境、使用期間、装着面の素材や加工により、耐荷重未満での使用においても落下、破損するおそれがありますので使用中は装着状態をご確認ください。)⑥モバイル機器を取り付けたまま炎天下の車内に放置しない。⑦金属プレート及び端末保護フィルムの貼り直しをしない。●本製品の取り付けにより、金属プレートがこすられてモバイル機器やケース側に傷がつく場合があります。●エアコンの風が直接モバイル機器にあたる場合、モバイル機器が結露する場合がありますのでご注意ください。●ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなど、衝撃でモバイル機器が落下する可能性があります。●天災やイタズラ等による事故、故障、破損等につきましては、当社では一切その責任を負いかねます。●上記の警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用・分解・改造(ご購入後の塗装やデコレーションなどを含む)をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任を負いかねます。

付属品の貼り付け方法

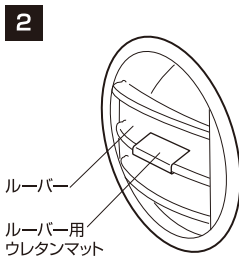
装着するモバイル機器裏面の汚れを取り除いた後、機器の中心に、端末保護シールを貼り付けてから、金属プレートを端末保護シールの上にとしっかりと貼ります。



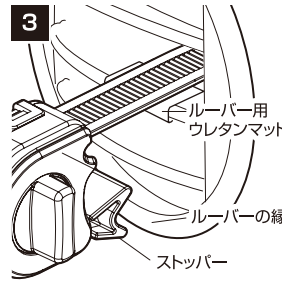
※金属プレートとマグネットホルダーが直接触れる位置に貼り付けてください。



本体取り付け位置を仮決めします。ストップパーがルーバーの縁に当たる位置で、フックをエアコンに差し込みます。ダイヤルロックを引き上げたまま(ロック解除)、本体のダイヤルを時計回りに回し、ルーバーの奥行きに合わせてベルトの長さを調節します。※仮取り付けのためテープ等は貼り付け

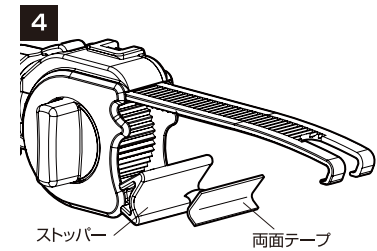
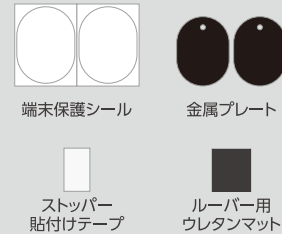


仮決め後、ベルトとルーバーが接触した位置に、付属の【ルーバー用ウレタンマット】を貼り付けます。※貼り直しはできません。

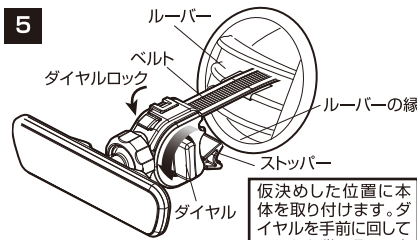


ストップパーを上下に動かして、ルーバーの縁に当たるように角度を調節してください。

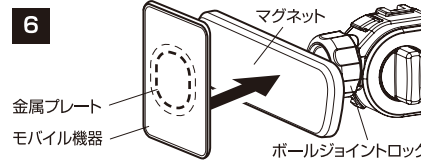
付属品



ストップパーの角度調節後、ストップパー内側に沿わせるように付属の【ストップパー貼付けテープ】の赤い剥離紙を剥がして、ストップパー側に貼り付けてください。※残りの剥離紙はまだ剥がさないでください。※貼り直しはできません。



仮決めした位置に本体を取り付けます。ダイヤルを手前に回してベルトを巻き取り、本体を固定します。本体が固定されたら、ダイヤルロックを押します。最後にストップパーに貼った両面テープの残りの剥離紙を剥がし、ルーバーの縁に貼り付けてください。



マグネットにモバイル機器背面の金属プレートが触れるように取り付けてください。ボールジョイントで上下左右の角度を調節した後、ネジを締めて角度を固定してください。使用時には、定期的にとしっかりと取り付けられているかをご確認し、必要に応じて増し締めしてください。取り付け不良に伴う脱落、モバイル機器の破損・お車の内装の破損、故障等は当社では一切その責任を負いかねます。